

1月6日に米議会で起こる選挙盗みの真相の爆発に、注目して待機せよ

SOTN

December 17, 2020

舞台は、1月6日、選挙人投票の確定のあと、バイデンのニセ勝利を覆すように仕組まれているのだろうか？

#ストップ・ザ・スチールが刻々と現実になりつつある

圧倒的な固い証拠が、今、2020米大統領選挙についての反論できない事実を、証明している。ジョー・バイデンのいわゆる勝利は、大規模な投票詐欺と、多くのサイバー犯罪による透明な選挙盗みの、直接の結果であった。

これは嫌なニュースである。

よいニュースは、バイデン-ハリスのニセ勝利が、遅かれ早かれ、間違いなくひっくり返るだろうということ——それも、完全に、通常の過程や手続きでない方法による。

それはいつごろか？

おそらく2021年1月6日、米議会両院が、選挙人投票を確定するのに集まってから、あまり時間を置くことなく。

この正義と公平の決定へのプロセスに向かって、進行しつつある重要な一連の出来事の一部は、ここに説明されている：——

素晴らしい7つの州：勇敢な州たちが、トランプの選挙人を送ることによって、2020選挙詐欺に対して立ち上がる <http://stateofthenation.co/?p=42151>

ここに言われていることが明らかにしているのは、共和党の地方大会が、上下院をともに騒がすだろうということである。

トランプ支持の選挙人の完全な名簿を送ることによって、これら7州のそれぞれが、大統領選挙の歴史で前例のなかったやり方で、挑戦状を叩きつけた。

このことから、アメリカ人民が目撃しようとしているものが、米議会の「大討論」以外のものでないことがわかる。我々は現実に、米議事堂の神聖なホールで行われた、「最大の討論」として歴史に残るものを、やがて体験する。

この最大の討論は、1月6日水曜日に、下院と上院の両方で、同時にキックオフされるだろう。

選挙日以来、多くの右派の上院と下院議員が、メディアに対して表明してきた内容があるので、彼らが命懸けの論戦を用意しているのは明らかである。参照せよ：**「Mo Brooks 下院議員が1月の米下院で、詐欺的選挙に対して立ち上がる予定」**（ビデオ）

<http://stateofthenation.co/?p=42160>

そして付言するならば、GOP（共和党）は、あらゆる必要な手段を用いて、盗まれた選挙結果をひっくり返さねばならない。さもないと彼らの党は、連邦のレベルにおいて、歴史のゴミ箱へと放り出されるであろう。民主党は、共和党大統領が再びホワイトハウスに坐ることがないようにする、あらゆる用意をしている。

この戦闘態勢が議会で、迅速かつ猛烈に形成しつつあることを疑う人がいたら、このリアリティ・チェックをよく見られるとよい：——**共和党選挙革命が米議会で進行中である**（ビデオ） <http://stateofthenation.co/?p=42129>

もう一つのビデオ記録が、明らかに有力なフロリダの米上院議員であり、選挙を盗もうとする、この鉄面皮の民主党に反対する、ある人物から提供されている：——**「多数の米上院議員が、1月6日の選挙人投票に異議を申し立てるだろう」**（ビデオ）

<http://stateofthenation.co/?p=42154>

キーポイント：——すべての選挙人タイムラインの主要な道程は、ここに与えられている：「**選挙人団：2020 大統領選挙タイムライン**」

<https://crsreports.congress.gov/product/pdf/IF/IF11641>

結論

もし「大スチール選挙」の間に、ポップコーンを掴んで、のけぞって坐り、脚をあげて映画を見る機会があった人は、まさに、今がそれだ。なぜなら、事態は全く同時に、娯楽としてこの上なく、波乱万丈で、かつ予想できないものになるからだ。

とてつもない欠陥のある、12月14日に起こった選挙人投票の、拒否が、1月6日の上院でも起こりうることを考えてみれば、大統領選挙の最終的決定は、米議会の両院が一緒に決めることになるだろう。なぜなら、現在の結果を変えるためには、両院がともに、それぞれの州の提出した選挙人投票に、反対しなければならぬからである。

そのような結果になる可能性は低いだが、決して低くない可能性は、アメリカ人民が圧倒的な量の、科学的な、逸話としての、また状況的な証拠を与えられ、この選挙は、ジョー・バイデン、カマラ・ハリス、および民主党によって、トランプ大統領から組織的に盗まれたという決定的な証明を、うんざりするほど聞かされることである。

愛国者の方々よ、これこそは、確立された、法的な過程と手続きが、国を奪い返すのに使うことのできる、最初の局面である。なぜなら、天地が覆る出来事が起こるのは、何百万というアメリカ人が、生涯で初めて、民主党員が歴史上最大の、選挙盗みに関わったことを知ったときである。

実際、多くの伝統的な民主党員たちが、選挙を盗むという犯罪的な陰謀の、深さと幅の大きさに、心底から恐れおののいているだろう。このことによって、彼らの反応は、トランプ・チームが正当な勝利を取り戻したことで、やがて湧き起こる、戦術と戦略に満ち満ちたものになるだろう。

1月6日以降、現実には起こることは、トランプ政権が、かつて例を見なかった投票詐欺と、**議会自体の構成員がやってみせた**、鉄面皮の選挙盗みという証明された事件を考慮して、決定することであろう。

このことから、代替メディアが、この日のライブの経過を正確に説明することが、いかに大切かがわかるだろう。なぜなら、主流メディアは、隠ぺいを維持するのに必死だからである。

いずれにせよ、現大統領はやがて、^{えびら}箆にもっとたくさんの矢をもつようになるだろう。なぜなら、1月6日の議会で提出される、高度に企まれた、広範囲な選挙詐欺の、反論できない証拠を、彼はもつことになるからである。その証明はあまりにも多く、想像を絶するもので、民主党は今、解散の危機に直面している——永遠に！

しかし正確なところ、トランプ大統領は、現在と就任の日までに、何ができるだろうか？

彼は合法的に反乱法を発令することができる、それが答えだ！

「チーム・トランプは、反乱法が発令後、超安全な、インターネットをベースにした連絡網を設置して、秘密計画を実行するのだろうか？」

<http://stateofthenation.co/?p=42017>

ここで肝要なことは、トランプ大統領は、選挙盗みを終わらせる特別の権力と、広い権限を持っていること、特に外国の敵や、国内の国家転覆勢力に対して、それが適用されることである。



[Greatchain 訳注]

SOTN の強みは、歴史がここに至るまでの、長くて深い、かつ精細な事実の調査に裏付けられ、あらゆる情報が網目のように繋がっていることである。したがって彼の判断は、根本において狂うことはないと思われる。訳者は本当は、挿入された、いくつもの関連情報をも訳すべきだが、それは不可能である。およその見当をつけて、骨子だけでも読んでいただきたい。